

## 1. 教育計画

## 公衆衛生看護学

分野	統合分野 公衆衛生看護学	科目名	家族支援活動論
単位・時間	1 単位・30 時間（授業 28 時間）	対象学年	2 年生
方法	講義	時期	後期
講師名(授業時間数)	専任教員 平田 あかり（28 時間）		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に 10 年 3 ヶ月		
学習目標	<p>1. 家族をシステムとして捉え、家族の関係づくりに必要な基本的な考え方と要素を学ぶ。</p> <p>2. 家族看護の意義と方法を理解する。</p> <p>3. 家族看護理論を学び、対象家族が健康を保持増進していく過程を援助する、基本的方法を理解する。</p>		
成績評価方法	筆記試験（出席状況、受講態度も含む）		
使用テキスト	家族看護学 理論と実践 日本看護協会出版会		
参考文献	随時資料を提示する		
履修上の留意	教科書をよく読み、用語の理解に努めること		
講師からのメッセージ	<p>みなさんにとって家族はどのような存在ですか？</p> <p>みなさんがご家族を大切に思うように、患者さんや対象の方々にとっても互いに支え合う大切な存在です。自分の家族も含め、家族のあり方や支援などについて考えていきましょう。</p>		

## 2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	家族の理解①	自分の家族・親族を図化し、自分の位置を確認する、家族の形態と歴史的変化	講義	
2	2	家族の理解②	日本の家族、看護の中の家族、家族の機能	講義	
3	2	家族看護の概念	家族看護の定義と目的、家族のセルフケア機能	講義	
4	2	家族看護における理論の活用①	家族発達理論、システム理論	講義	
5	2	家族看護における理論の活用②	家族ストレス対処理論	講義	
6	2	家族看護における看護者の役割	家族看護における看護者の役割、基本的援助姿勢	講義	
7	2	家族看護過程① 情報収集の構造と内容	情報収集の視点、情報整理の方法	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
8	2	家族看護過程② アセスメントの実際	家族アセスメント～援助仮説の導き方	講義	
9	2	家族看護過程③ 計画立案	援助目標の確立、計画立案	講義	
10	2	家族看護過程④ 実施・評価	評価の原則	講義 GW	
11	2	家族看護過程⑤	2事例目の展開	講義	
12	2	家族看護過程⑥	2事例目の展開	講義 GW	
13	2	臨地実習における 家族看護	実習における家族看護の学び	講義	
14	2	臨地実習における 家族看護	学びを共有し、家族看護について考える	講義 GW	
15	2	評価	筆記試験		